

# 学校でも障がい者理解の教育が進められています

## 『基準と偏見を捨てよう』

ゆりのき台中学校1年 濱中夢さん

小学生の頃、私は障がいのある人を見て、とても驚いたことを覚えている。

私の学年には障がいのある人はいなかったけれど、他の学年にはダウン症の人がいた。その人は朝会で急に大きな声を出したり、静かな時に拍手をしたりすることがあったので、最初はとても驚いた。周りの子も、その人が大きな声を上げるたびに注目していた。その時は障がいのある人のことを何も考えず、仕方がないことだと思っていた。むしろそうだった行動をとめなければいけない先生が大変だなと思っていた。それが実は間違っていたということには後になって気付いた。

中学生になり、道徳の時間で「どうしたらいいんですか」という読物資料を使って学習した。私はこの物語がとても心に残り、障がいのある人に対する自分の中の思いがこれで良いのか、考えさせられた。

「頑張つてね」。これは物語の中で障がいのある人がご飯を食べている時に周りの人からかけられた言葉だ。きつと声をかけた人は、障がいのために苦労するだろうと思つたにちがいない。しかし、障がいのある人からすれば、何を頑張れと言われているのだろうと思う。私も以前、雨が降っている日に、足に障がいのある人がレインコートを着て車いすに乗っている姿を見て、「大変そう、頑張れ！」と思つた。けれど、その人からすれば当たり前前で、何の応援にもなっていない。私は障がいのある人を自分の基準で見ていることに気が付いた。人には基準というものは無いのに・・・では、どうすることが相手への優しさになるのだろうか。それこそが、私が道徳の時間で学んだ「どうしたらいいんですか。」だ。例えば、物語にあったように、目の不自由な人に対し、相手の意思を確認せずに、一方的に手を引っ張って目的地へ連れて行つても、その人にすればどこに連れて行かれるのか不安だろうし、とても怖いと思



イラスト：ゆきみん

う。そんな時は、「どうしたらいいんですか。」と声をかけることが本当の優しさだと思う。その言葉には、相手の気持ちを考え、手を助けるためには自分はどう行動すればいいのかという思いが込められている。相手のことを考えられるからこそ、思いやりの心の持ち主であり、人権を大切にする人なのだ。

私はまた、物語と同じような話を聞いたことがある。それは障がいのある人が話していたのだが、「よく私は『かわいそう』と言われる。それは優しさから出た言葉だと思っけれど、障がいのある人にとっては一番悲しくて、傷つく。」という内容だった。私がそうだったように、障がいのある人は、自分の基準で周りの物事を見ている。そして自分と違うところがあることを認めない。だから世の中で偏見、差別、いじめ、虐待などが起こるのだと思う。人は全員、みんなよろこばれて生まれてくる。けれど障がいのある人は周りの人から変な目で見られたり、当たり前前のことをしてしているのに注目されたりする。その視線は、時に障がいのある人の心を傷つける。そんなことは決してあってはならないと私自身も理解していったつもりだった。今回、道徳の時間を通じて、改めて障がいのある人の思いを知り、自分自身を見つめることができた。そして、少しでも今までの自分を変えることができるような気がしている。

現在も障がいのある人に対する偏見がある。それをなくしていくには、本当の優しさと、人権を大切にする心が必要だ。そのためには、物事を自分の基準だけで判断することを捨て、相手の心を読みやる必要があると思う。その思いをこれからも大切にしていきたい。

### 編集後記

取材をしていて、気づいたことがあります。それは、駐車場や優先席で見かけることの多い下記の「障害者のための国際シンボルマーク」の表示です。この表示は、すべての障がいのある人たちの利便を図り、利用しやすい建物や施設であることを示し、障がいのない人への配慮を促すための世界共通のマークだということです。



マークのある場所への駐車は、障がいがあっても「私よりもっと必要としている人がいるかもしれないので使わない」という人もいます。また、外見では分からない障がいのある人もいます。一人ひとりの市民が正しい理解と譲り合いの心を持つことが、共に生きる社会への大きな一歩になります。

### 【4面の答え】

#### ①耳マーク

「私は聞こえが不自由です」ということを表しています。

#### ②ハートビル

高齢者や障がいのある人、妊娠している人など、だれにでも利用しやすいバリアフリーをめざした建物や住宅に表示しています。

#### ③身体障害者マーク

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示しています。

#### ④オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）の利用に配慮した設備があることを表示しています。

#### ⑤ハート・プラスマーク

身体内部に障がいがある人を表しています。

#### ⑥聴覚障害者標識

聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている人が運転する車に表示しています。

#### ⑦盲人のための国際シンボルマーク

視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに表示しています。

### 第66回人権週間

国は、人権尊重思想の普及高揚のため、「世界人権宣言」の採択日（12月10日）を最終日とした「人権週間」にさまざまな啓発活動を行います。

期間 12月4日（木）～12月10日（水）

主催 法務省、全国人権擁護委員連合会

#### 重点目標

「みんなで築こう 人権の世紀を考えよう 相手の気持ち育てよう 思いやりの心」

### わたしのまちの地域部会開催のお知らせ

～どなたでも参加できます～

参加無料

#### 武庫が丘地域部会

日時：11月23日（日）10時～12時  
場所：武庫小学校体育館  
内容：講演「あ～よかったな あなたがいて」  
仲島 正教さん（教育サポーター）

#### 三田地域部会

日時：11月29日（土）13時30分～15時30分  
場所：中央公民館大集会室  
内容：講演「輝いて生きる～スキーに魅せられて～」  
井上 英年さん（日本チェアスキー協会理事）

#### 志手原地域部会

日時：11月30日（日）10時～12時  
場所：志手原小学校体育館  
内容：講演「あ～よかったな あなたがいて」  
仲島 正教さん（教育サポーター）

#### 藍・つつじが丘地域部会

日時：11月30日（日）13時30分～16時  
場所：藍市民センター  
内容：講演 村井 吉昭さん  
（NPO法人オフコース代表）

#### 小野・母子地域部会

日時：12月14日（日）13時～15時  
場所：有馬富士共生センター  
内容：講演 屋 猛司さん  
（国立療養所邑久光明園 入所者自治会長）